

クラブ委員会活動計画

1996.7～1997.6

鹿児島西ロータリークラブ

委 員 会 報 告

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長：高 山 義 則

委 員：（副）海江田 卓・片平 可也・谷口 良康・山田 晴彬

村田 和雄・深尾 兼好・竹下 威・天本 美信

染川 周郎・山下 和磨

基 本 方 針

ロータリークラブの基礎であるクラブ奉仕活動がR Iの本年度テーマに向って活動出来るように、クラブ奉仕関係委員会の結束と融和を計る。

本 年 度 の 計 画

- (1) クラブ奉仕委員会を上期、下期夫々開催する。
- (2) 例会の充実を計る。
- (3) 例会の充実のため、出席の意義と自覚を徹底させ、出席率の向上を計る。
- (4) クラブ充実のため、会員の拡充を計る。

活 動 状 況

各小委員会委員長と連絡を取り合っってクラブ奉仕活動の充実に務めている。

- クラブ奉仕委員会（上期）開催10月9日
- 例会の座席のあり方工夫と卓和者の選択の工夫にて例会の充実、楽しさを計りつつある。
- 出席率月平均94%以上に努力中、最近上昇してきた。
- 会員数は委員の努力によって90名から97名に増加

会 員 増 強 委 員 会

委員長：片 平 可 也

委 員：（副）榎屋 稔・三角桂次郎・徳田 基・黒木 幸一

基 本 方 針

1. クラブの円滑な運営ができるよう、年令的及び職業的にバランスのとれた会員構成をめざす。
2. クラブの活性化、向上発展等に寄与出来るような人を推薦する。
3. 会員増強に全会員の積極的な協力を願って努めたい。

本年度の計画

1. 転勤、退会等を見込んで、10%程度の会員増強を目指す。
2. 未充填の職業分類に夫々ふさわしい会員候補を推薦したい。

活 動 状 況

- わが西ロータリークラブ玉川会長は、就任挨拶で、時代のニーズを「先見の眼」で捉え、ロータリアンとして「積極的に行動」したいと申され、又、会員増強に引き続き力を注ぎ、目標の100名の増強実現に向けて、協力する様にいわれた。
- ロータリーを理解して、奉仕の精神をもち、若い行動力のある方の入会で、会員の若返りを計り、各委員長及び委員の方々にも協力をいただき、現在まで7名の新入会員の入会を見た。
- 退会者は色んな方法で極力くいとめたいと思うが、一応、前年度までの傾向をみると、転勤その他で9名位（10%）は減があると見込まれるので、実質増9名（10%）を確保するため、当初20%増強を目標に掲げたので、後11名の新入会増強で目標達成です。
- 会員増強委員会の委員は勿論のこと、各委員会の会員の方々の色んな機会をつかんでの会員増強に絶大なる協力を、切にお願いします。

会 員 選 考 委 員 会

委員長：谷 口 良 康

委 員：(副) 福田 正臣・中川 宏・永田 征之・山元 政明

基 本 方 針

会員の選考について下記の点に留意する。

1. 社会人として常識的感覚を有し、かつロータリアンとしての義務活動を支障なく果せる事、出席義務をはたせる事。

本年度の計画

職業分類、会員増強と連絡を密にしてすぐれた会員の増強につとめたい。

活 動 状 況

- 新年度（7月）以来7人の入会希望者を選考し、7人が入会した。
推薦者にいただいた紹介状をもとに書類審査をし、更に委員が直接本人に面会して親しく談話をかわし、お互いに理解し合って選考をすませて居る。

職 業 分 類 委 員 会

委員長：村 田 和 雄

委 員：(副) 佐伯 壽郎・平岡 禎吉・岩元 基

基 本 方 針

これまでの調査結果を参考に、地域社会の職業分類について調査し、これに対する充填並びに未充填職業の分類表を作成して、職業分類上から見た会員構成の改善点を検討する。

本年度の計画

- ① 地域社会の職業分類とこれに対する充填並びに未充填職業の分類表を作成する。
- ② バランスのとれた会員構成を目標に、クラブ奉仕、会員増強、会員選考の各委員会と協力し未充填職業の会員獲得に努力する。

活 動 状 況

- 本年度職業分類表はクラブアSEMBリーに記載のとおりである。
- 職業分類表を実態に即したものにするため、他地区クラブの職業分類表（1991年度254地区発刊）を取り寄せ、検討している。

出席委員会

委員長：山田 晴 彬

委員：(副) 山下 健・永松 実夫・福田 一郎・伊藤 正次

基本方針

例会に出席する事が義務であり、出席する事が奉仕への出発点であります。会員の理解と認識を深め出席率を高める様努力する。

本年度の計画

1. 出席率100%の日を作る努力する。
2. 例会に欠席したときは、メイクアップする様奨励する。
3. 連続出席100%出席者に対して記念品を贈呈する。

活動状況

- 7月、8月、9月、3ヶ月間の例会、出席状況は順調で平均 %、メイクアップ訂正出席率 %でこの状態が続く様今後も努力します。尚、例会欠席者にはメイクアップする様奨励します。今迄も、色々な機会をとらえて出席率を高める様努力していきたいと思ひます。

親 睦 委 員 会

委員長：深 尾 兼 好

委 員：（副）長柄 英男・中村 英幸・正 建二郎・首藤 公明

菅 富男・藤井 寛久・有働 祐史・若松喜八郎

基 本 方 針

- ・ 会員相互の親睦をはかるとともに、ビジター、ゲスト等来訪者がクラブと親しみ、気持ちよく過ごせるクラブ作りのため委員全員が努力する。
特に3年未満の新入会員との親睦を図るため、親睦行事への積極的な参画を促す。

本年度の計画

年4回の参睦会を実施する。

参睦会の企画については観月会、クリスマス家族会等、各会の特性に留意し、印象的な内容を検討する。

有志によるゴルフコンペを年4回実施する。

ニコニコBOXの件数を増やすため情報交換を密にする。

活 動 状 況

- 参睦会は印象的な内容を検討する一の方針に基づきSAAとの合同打ち合わせ会を月一度のペースで実施、委員の出席率も良く9月の月見の宴では、出席した親睦委員全員が、主体的に進行役を務めた。現在クリスマス家族会の企画を検討中
- ゴルフコンペは、担当菅会員の万全の準備で第一回目を終え、第二回目を準備している。特に今年は新入会員への呼びかけを密にし、参加者は増加、好評である。
- ニコニコBOXについては、会員個人の情報紹介の場であることをPRし、受付で積極的に声を掛けている。

ロータリー情報委員会

委員長：竹下 威

委員：(副)高橋 良明・小園 正人・小田代憲一・原田 隼男
中島 健・加藤 一徳

基本方針

1. 会員に対しては、ロータリー活動のための適切な情報を随時提供する。
2. 新入会員に対しては、ロータリークラブの組織、理念、資務などについてわかりやすく説明、助言する。

本年度の計画

1. 新入会員に対し、入会時に個別にオリエンテーションを行うほか、1～2か月経過後に数名を単位として、グループによる話し合いを行なう。
2. 学習会を充実させ、新入会員、一般会員を問わず、広く、国際ロータリーのテーマに準拠しながら学習し、ロータリーに対する認識を深めるべく情報を提供する。
3. 上記の目的のための情報の収集に委員全員が努力する。

活動状況

- 8. 7. 31 ロータリー情報委員会会合(鶴鳴館鶴家)本年度の具体的な行事計画並びに月例の学習会のテーマ、役割分担等について検討のうえ決定。
玉川会長、森永幹事、高山クラブ奉仕委員長にも御出席いただく。
- 8. 8. 下旬 新入会員用の資料として、マイフレンド(埼玉県八潮RC発行)25部及び情報委員用資料としてロータリー情報集(熊本グリーンRC発行)5部を発注
- 8. 9. 8 RI第2730地区内クラブロータリー情報委員長会に竹下委員長出席(都城市メインホテル・ナカムラ)
- 8. 10. 30 平成8年7月以降入会の新入会員6名とロータリー情報委員との意見交換懇談会(鶴鳴館鶴家)玉川会長、高山クラブ奉仕委員長にも御出席いただく。
- 学習会のテーマ、担当者及び今後の予定は次のとおり

学習会活動状況報告

(平成8年11月現在)

(ロータリー
情報委員会)

年	月 日	担当者	テ マ
平成 八 年	7 / 1 (213回)	竹 下	RIテーマ“築け未来を—行動力と先見の眼で” について
	8 / 5 (214回)	竹 下	会員増強及び拡大月間にちなんで
	9 / 2 (215回)	竹 下	新世代月間にちなんで
	10 / 7 (216回)	原 田	職業奉仕月間にちなんで(ボランティア活動を含む)
	11 / 5 (217回)	小 園	ロータリー財団、財団米山の寄付について

学習会今後の予定

(平成8年12月～平成9年6月)

平成8. 12. 2 (218回)	竹 下 中 嶋	上半期をふりかえって
平成9. 1. 13 (219回)	小田代	ロータリー理解月間にちなんで
平成9. 2. 3 (220回)	高 橋	世界理解月間、国際奉仕について
平成9. 3. 3 (221回)	原 田	社会奉仕とローターアクトについて
平成9. 4. 7 (222回)	小 園	雑誌月間にちなんで
平成9. 5. 6 (223回)	小田代	出席と親睦について
平成9. 6. 2 (224回)	竹 下 中 嶋	一年間をふりかえって

会 報 ・ 雑 誌 委 員 会

委員長：天 本 美 信

委 員：(副)坂元 明雄・安田 正治・吉留 益・坂木 貞剛

基 本 方 針

- ① 毎週クラブ週報を発行し、クラブ内外の情報を伝える。
- ② ロータリーの友・ガバナー月信を積極的に愛読するように奨励する。
- ③ クラブの活動状況等の記録を残す。

本 年 度 の 計 画

- ① 週報の内容の充実をはかる様に努力する。
- ② 各委員会と連絡を密にして情報の提供をお願いする。

活 動 状 況

- 週報は活字を大きくし、読みやすくした。
- スタイルは、現状を維持、さらに内容の充実をはかるよう努めています。

プログラム委員会

委員長：染川周郎

委員：（副）柴山一清・岩元紀彦・鉾之原大助

基本方針

会員相互の理解と親睦を得られるように、もれなく新入会員の卓話の機会を設け、併せて今年度の地区大会のテーマの精神を実践できるような卓話も計画したい。

本年度の計画

1. 会員卓話の機会を出来るだけ多く設ける。
2. 地区大会のテーマに沿った活動をしている団体、個人を探して卓話をお願いする。
3. 環境問題について啓蒙するような卓話も計画したい。

活動状況

- 7, 8月は、平成7年9月から平成8年1月までに入会された新入会員の方々に卓話をお願いした。それぞれの職業を代表してロータリーに参加されている会員の卓話はレベルも高く有意義であった。また、当該新入会員のお人柄等を知る絶好の機会ともなり、親睦を深めるといった観点からも有意義であった。
- 9, 10月は、職業人として活躍中の女性の方々に卓話をお願いし、それぞれの卓話者の視点からの話が聞けて有意義であった。

広 報 委 員 会

委員長：山 下 和 磨

委 員：(副) 中村 一雄・本田 亨・松田 健一

基 本 方 針

地域社会にロータリーを正しく理解頂くためにクラブの活動実績や、考え方を各メディアを通して、広くお知らせする。

本年度の計画

- 1) マスコミ関係者とのコミュニケーションをつくるための懇親会を実施したい。
- 2) 各委員会に出来るだけ顔をだし、ニュース性のあるクラブ活動は、速やかにマスコミに流す。
- 3) 自クラブの大きな行事や、運動など細心の気配りで、広報漏れのないように注意する。

活 動 状 況

- 基本的には、地域社会にロータリー活動を正しく理解していただく事と週報などを通じ、クラブ内広報を主に考えております。まだ内外共に活動らしい活動は、行っておりませんが、これからマスコミ関係者とも接触を密にし機会をとらえたいと考えております。
- 10月6日(日)の西駅前広場大掃除にTV取材を依頼してありましたが、終了後に取材に来られたとの事で残念でした。

S A A 委 員 会

委員長：樋 渡 良 一

委 員：（副）玉利 賢介・板木 泰文

基 本 方 針

例会場の気品を保ち、例会が秩序正しく運営されるよう努める。また、会員間の親睦を図るための会場作りをする。

本年度の計画

1. 親睦を図るため、変化ある座席作りを親睦委員会とともに行う。
2. ビジターはの方々に、満足していただける会場作りをする。
3. 卓話中の私語、早退ができるだけ減るよう努力する。

活 動 状 況

- 会場入場の際、名札を手渡しする努力をしている。
- 名札立ての位置の変更を行ない、入退場の際の混雑解消を目指している。
- 親睦委員会との交流を密にし、例会運営の円滑化に役立てている。
- 委員会別座席表の更新など座席のわかりやすさに努力している。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長：山 下 皓 三

委 員：（副）有馬 戦男・太原 春雄・庵木 英雄・東郷 三郎

基 本 方 針

職業奉仕は、ロータリークラブと会員の双方の責務であるというR I職業奉仕委員会の方針に従って、より高い倫理観、視野の広い導徳観をもち、職業奉仕の理想を実行普及するよう奨励する。

本年度の計画

1. 職業奉仕の認識を高めることを目標に基本方針である「職業宣言」を例会場に掲示する。
2. ボランティア委員会と協力し、会員個人ならびにロータリークラブとしてのボランティア活動に取組めるよう推進する。
3. 職場訪問を実施する。
4. クラブ会員の推薦を受け隠れた優良従業員の表彰を行う。
5. 青少年奉仕委員会と協力、インターアクト高校における職業選択フォーラムを計画している。
6. 四つのテスト唱和の実施
7. クラブ会員それぞれ職業奉仕の実態や認識理解する機会を設けたい。

活 動 状 況

- 「職業宣言」を例会場に掲示
- 四つのテスト唱和を毎月実施した。
- 職業奉仕の実態や認識理解をするためクラブフォーラムや学習会で話し合いをした。
- 職場訪問「沖縄航路クイーンコーラル」実施した。
- 隠れた優良従業員の表彰を職業訪問時に実施した。

ボランティア委員会

委員長：前田 樹一郎

委員：（副）佐伯 壽郎・福田 正臣・中尾 正昭・山下 健
長柄 英男・高橋 良明・坂元 明雄・柴山 一清
海江田 卓・有馬 戦男・水流 洋・野添 良隆
宮脇真一郎・小山 幸義・中村 一雄・榎屋 稔
竹下 洋

基本方針

「超我の奉仕」というロータリーの理念に基づいて職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会と緊密に協力しながら奉仕活動をする。

本年度の計画

1. 先達である老人の方々に感謝しながら未来を担う青少年の悩みや希望をアンケート等でお聞きしてお役に立ちたい。
2. ボランティア奉仕活動についての理解と啓蒙（学習会）を行う。
3. 各会員の活動についてのアンケート調査を行う。

活動状況

- 桜ヶ丘七丁目老人会で「身近かな法律相談会」を開き、竹下威会員に話して頂きました。
- インターアクト（鹿高・鶴丸高）の職業選択フォーラムを青少年委員会と協力して行う。
- 卓話者に、社会福祉関連の方を呼びボランティア奉仕活動について話して頂く。

社会奉仕委員会

委員長：三反田 藤 男

委員：(副)野添 良隆・岩男 秀彦・木治屋克巳・松田 忠臣

基本方針

1. 地域社会のニーズを多角的に調査研究し、その中で、必要度の高いものを取り上げる。
2. 社会奉仕委員のみでなく、他委員会との連携そして協力と理解を得て実行出来るようにする。

本年度の計画

1. 継続したプログラムは、従来通り継続実行する。
 - ① ロータリー賞
 - ② 西クラブ青少年文庫の献本
 - ③ 福祉施設訪問
2. 新しいプログラムの試み
学習会やクラブ協議会及び委員会において単年度で実行出来る事柄やアイデアを聞き入れて、と上げる。

活動状況

- 1996. 07. 03
国際麻薬乱用撲滅デー「ダメ・ゼッタイ」普及運動国連支援募金¥47,910円也7月24日振込んだ。
- 1996. 08. 17
社会奉仕委員長会議に出席し、我がクラブの活動計画の報告を行った。
- 1996. 10. 05
市内クラブ社会奉仕委員長会議に出席し、協議に参加した。
「共同募金運動への協力について」
市内9クラブによる「新世代会議」開催について

ローターアクト委員会

委員長：川 平 建次郎

委員：(副)宮脇真一郎・新川 靖博・二宮 幸一・南 徹
諏訪園 隆

基本方針

1. ローターアクトクラブの「定款と細則」の周知、徹底をはかる。
2. ローターアクトクラブの維持および活性化をはかる。
 - (1) 「社会奉仕活動」の目標を地域に密着したものにするように。
 - (2) 「各種研修会」および「社会奉仕活動」に参加することによって友情と親睦を深め、あわせて道徳を知るように。
 - (3) 「海外研修会」に参加し、「国際理解」を深め、視野を広め、人格の高揚をはかるように。
 - (4) ローターアクトクラブの「資金調達の方法」は適切なものであるように。

本年度の計画

1. ローターアクトクラブの各種活動への助成をする。
2. ローターアクトクラブ会員の増強に協力する。
3. ローターアクトクラブの各種活動にロータリアンの参加を求める。
 - (1) ローターアクトクラブ例会
(第1・3木曜日・午後7～9時・青少年会館／鴨池新町)
 - (2) JR西鹿兒島駅前の清掃作業(第1日曜日・午前6時半)
 - (3) 「愛の聖母園」訪問(第1日曜日・清掃作業のあと)
 - (4) 各種研修会(クラブ内、分区内、地区内、RYLA、その他)
 - (5) 内外ローターアクトクラブとの交歓会
(地区内外・唐津・韓国・台湾)
 - (6) チャリティーバザーの開催

活動状況

※ 近年、「ローターアクト委員会」が「金銭的援助」にとどまり、「ローターアクトクラブ」を自主運営させてきた結果、「ローターアクトクラブ」を得意げに語る会員が一人もいないまま、「奉仕」という言葉に誘われて集まった若者が、これといった「奉仕」の実績もなく、「仲良しクラブ」を形成するに至っていた。

※ 私は多くの皆様のご賛同を頂き、「金も出すが、口も手も出すロータークラブ」の委員長として委員長役を引受け、「例会」および「理事会」にすべて出席し、「口出し」しているところである。

1. 「ローターアクト必携」を「ローターアクトクラブ」の全員に配布した。
2. 「ローターアクトクラブのクラブ内研修会」で、「定款と細則」の周知徹底をはかった。
3. 「理事会・例会・例会のメインプログラム」等々について、予め「シナリオ」を作らせ、添削している。会議の進め方・テーマの選び方・配布資料等に注目し、「ローターアクトクラブの活動（アクション）」に関連づけさせるよう指導し、「聞きっぱなし・やりっぱなし」にならないように注意している。当初、「ローターアクトクラブ」サイドの煩わしそうな気配を感じたが、「理事会・例会・例会のメインテーマ」等が予定どおり円滑に行われるようになり、新方式に興味を持つようになってきた。「例会出席率」も向上している。また、「他のローターアクトクラブ」の運営にも興味を持ち初め、積極的に「メイキャップ」をし、「他クラブ」の状況を報告する姿勢が生まれてきた。
4. 「会員増強」に関して、今の人数で何ができないのか、人数を増やして何をしたいのかを検討させた。当面の目標会員数を20名とし、3名増員した。更に増員する予定である。退会者はない。
5. 「韓国研修旅行」に鹿児島西ローターアクトクラブから2名派遣した。
6. 「新世代月間」にちなんで、鹿児島西ローターアクトクラブが創立以来実施している「アクトデー行事（西鹿児島駅前の早期清掃作業）」に、10月6日、ロータリアン18名が参加した。
7. 「姉妹クラブ（唐津東ローターアクトクラブ）との交流」として、近日中に唐津に出かける予定である。
8. 「チャリティーバザー」をし、活動資金の調達をはかる予定である。

※ まだ数ヶ月間の模索ではあるが、「ローターアクトクラブの姿勢は確実に変化している。会員数が増えてくれば本物になるかも知れない。楽しみである。

青少年奉仕委員会

委員長：大平重隆

委員：（副）竹下 洋・高井 敏治・水淵 清治・田崎 一郎

池田勝一郎

基本方針

インターアクト委員会と連絡を密にし、直接青少年に接し共に行動する機会をより多くつくり、魅力的な楽しい青少年活動をつうじて、立派な後継者が育つよう努める。

本年度の計画

1. 青少年及びインターアクトの会合に積極的に参加する。
2. 青少年及びインターアクト活動がしやすいように助勢援助する。
3. インターアクトの会員増強に協力する。

活動状況

- 学習会で青少年非行について具体的事例をあげて意見交換をした。
参加の委員は皆夫々の職業と立場で日常的な青少年奉仕活動を実践している。
- インフォーマルミーティングで青少年非行について討議した。
我々大人の側にも反省すべき点があり、特に日々大人としての責任ある行動をとることや青少年の心理や行動にもっと深い関心を持つべきであるとの認識でまとまった。
- インターアクト委員会と協力して職業選択フォーラムをおこなう。
- 新世代月間推進のため、ローターアクト委員会、インターアクト委員会と協力する。

インターアクト委員会

委員長：江夏 洋

委員：(副) 小山 幸義・福地 眞・鶴木 伸吉・諏訪園 勲
日高 好久

基本方針

鹿児島高校・鶴丸高校のIAC会員並びに指導の先生との接する機会を出来るだけ増やし、活動の活性化と相互理解の強化を推進する。

本年度の計画

- インターアクトの年次大会に出席し協力と援助を行なう。
- 鹿児島高校・鶴丸高校、両校のインターアクトクラブのメンバーと両校の生徒とロータリアンにおいて、将来の職業選択についてのフォーラムを本年も開催する。
西クラブのロータリアンの皆様も8月5日(月)～8月7日(水)迄のインターアクト年次大会に多くの方が御出席下さいますよう、宜しく御願い申し上げます。
尚、会場は「大隅少年自然の家」でございます。

活動状況

- 年次大会への協力と援助
第32回、2730地区インターアクト年次大会が8月5日より8月7日の3日間鹿屋市の大隅少年自然の家で開催されました。
本年度の大会テーマは(友達になろう)で鹿屋ロータリークラブのホストのもと、まずまずの天気にも恵まれ、終了致しました。参加校19校、参加者IAC会員144名、指導教諭21名、我が西クラブからは鹿児島高校IAC会員4名、指導教諭2名、ロータリアン3名が参加致しました。鶴丸高校は都合がつかず不参加となりました。
- 将来の職業選択についてのフォーラム開催
この計画については昨年迄の資料をもとに現在検討中です。

国際奉仕委員会

委員長：古木圭介

委員：(副) 水流 洋・田中 寛吉・江口 清隆・藤安 秀一

基本方針

ロータリー活動を通じて国際理解と親善を推進することを基本方針とする。

本年度の計画

1. サンタローザ友好協会の主催する青少年交換プログラムを支援する。
(当該計画はインターアクト委員会と連携して行う)
2. 世界理解週間に因んで、会員の理解を深める情報を提供する。
3. 姉妹クラブである米国サンタローザ・サンライズロータリークラブとの交流を促進する。
4. その他、地区の計画に協力する。

活動状況

- サンタローザへインターアクトメンバー2名を派遣した。(1996年7月～8月)
- 姉妹クラブ、サンタローザ、サンライズRCとの共同プロジェクトであるプログラム#3216が途切れているので玉川会長の指示により、先方へ問合せを行い継続できるよう進めている。
(当初は各クラブ毎年1000ドルを拠出し、5年間継続するとなっていた)

ロータリー財団・米山奨学委員会

委員長：岩 田 泰 一

委 員：（副）中尾 正昭・池口 恵観・須田 正己

基 本 方 針

ロータリー財団と米山奨学会の設立された目的と現在の活動状況を会員に説明し理解を深めてもらう。

本年度の計画

1. 米山奨学生「張宰赫」のカウンセラーとして温かく迎える。
2. ポールハリスフェロー、準フェローを増加させる。
3. 米山奨学会への寄付金の増加に努力する。

活 動 状 況

- 例会で個々の会員に相談をしながら理解をいただきポールハリスフェロー5名マルチフルフェロー1名予約いただいております。
- 奨学生、張君について月初めの例会で顔を合わせコミュニケーションを取っています。12月3日6.30玉川会長宅で食事の会をいたします。